






議 長	局 長	次 長	主 幹	書 記
				

様式第 6 号 (第 8 条関係)

平成 31 年 1 月 17 日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 谷 垣 満



政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日
平成 31 年 1 月 10 日 (木) ~ 11 日 (金)
- 2 活動場所
全国市町村国際文化研修所
- 3 活動目的
平成 30 年度市町村議会議員研修 [2 日間コース] 「防災と議員の役割」受講
- 4 活動内容

1 月 10 日 13:00~14:30	【講義】地域防災力を向上させるために 首都大学東京 名誉教授 中村 一樹 氏
14:45~15:55	【講義】平時の防災と議員の役割 鍵屋 一 氏
16:00~17:30	【演習】平時の防災と議員の役割 鍵屋 一 氏 湯井戸 恵美子 氏
11 日 9:00~10:10	【事例紹介】災害時の避難所運営を経験して 峰山 秀次郎 氏 漆野 和也 氏
10:25~13:35	【講義・演習】災害時・復旧期の議員の役割 鍵屋 一 氏 湯井戸 恵美子 氏
13:45~14:45	【講義】ふりかえりとまとめ 鍵屋 一 氏 湯井戸 恵美子 氏



5 活動成果

○地域防災力を向上させるために 首都大学東京 名誉教授 中村 一樹 氏
1961年に災害対策基本法が制定されて以降、幸いにも大きな災害は少なかったが、近年、甚大な被害と多くの死者を出す災害が続発している。複合災害と広域巨大災害により被害と対応が増幅される事例が増えたことと、高齢化により対応・復興力が低下している現状の指摘は、災害対策強化と効率化を図る体制整備の必要性を強く感じた。自助・共助・公助を能率的に発揮させるためにも、議会と議員の役割は大きく、関連死が直接死を上回る現状もふまえ、平時の取組みと復旧・復興期に至る「日常を取り戻すまで」を網羅できる仕組みづくりが必要であると感じた。

○平時の防災と議員の役割 鍵屋 一 氏
東日本大震災の実例を基に、求められる災害対応について学んだ。
地域の繋がりの希薄化と高齢化がもたらす災害対応力と復興力の脆弱化は顕著で、災害関連死も含め限られた自助・共助・公助の力を最大限発揮させるためにも、平時の備えが必要であるとの指摘を受けた。正常化の偏見（正常性バイアス）こそ防災意識の遅れの原因であり、行政・議会における備えや体制整備の遅れにつながっているとの指摘は、現状を再認識させられ、事例から非日常を具体的に見る・学ぶ・体験することが、防災意識を高めその重要性を実感する方法であると感じた。

○平時の防災と議員の役割【演習】 鍵屋 一 氏 湯井戸 恵美子 氏
大災害時に効果的な行政対応について、ワールドカフェ形式で演習を行った。
東日本大震災時に岩手県大槌町で陣頭指揮を行った平野総務部長（現町長）の行動記録から、行政の効果的な対応について、参加議員より様々な課題と対応策が示された。「災害対応の人員不足」については職員や消防団OBの連携による強化と、「有事の迅速な対応」については平時に行う備えの充実の意見が多かった。また、行政・地域に災害対応のリーダーとなるべき人材の確保が重要であり、防災訓練や平時等を通じて情報共有の仕組みづくりが有効であることが指摘された。

○災害時の避難所運営を経験して 峰山 秀次郎 氏 漆野 和也 氏
熊本地震で災害対応と避難所運営の指揮をとられた事例をふまえ、質疑応答から課題と対策について学んだ。
消防署員である漆野氏から、災害時の救急・復旧・対応において交通網の確保の重要性が指摘された。地域住民による通行路の清掃・復旧・確保が迅速な対応に効果を発揮した事例は、自衛隊が行う最優先項目であることから災害対応に注意すべき視点であると感じた。また平時から住民との関係性が築かれている交通安全協会員であった峰山氏が避難所運営の統括として行動された事例は、共助における課題と市民目線で行政に求める対応について明確に示された。

非日常である被災は想像を絶するものであり、必要とされる対応を定めにくい。阪神・淡路大震災や東日本・熊本など大災害での経験を無にしない取組みこそ、市民に求められる議会・行政の役割であり、被災し失われた命への敬意である。学んだ知識を活かし養父市議会議員として付託された職責の全うに努めたい。